

# 第7期（平成30年度）

（自 平成30年7月1日 至 平成31年6月30日）

## 事業計画書

東京都港区北青山3-3-7 青山ビル2階

公益財団法人 ライオンズ日本財団

# 第7期（平成30年度） 事業計画書

## 基本方針

平成29年度の日本経済は、インバウンド効果もあり緩やかな回復基調が続いておりますが、全体としてはやや先行き不透明な状況と考えられます。一方、国外では中東地域や北朝鮮等での問題も多く、また米国のトランプ政権の対応など目の離せない出来事が多くあり予断を許さない状況が続いております。

また、2020年オリンピック・パラリンピックに向けては青少年健全育成・障害者福祉への活動が順調に進み始めております。東日本大震災も7年が経過し、復興への道を歩んでおりますが、熊本地震や昨年九州豪雨をはじめ、今月も大阪北部地震と災害が多発しております。そのような状況の中で世界・国・地域社会の様々な環境の中で、政治経済では成し得ない社会奉仕活動の必要性が更に重要となって参ります。

このような社会の環境に対応する為に、当財団は会員各位への周知及び研修を行い、外部への協力を仰ぐと同時に、事業を円滑に行なう為にも運営資金面において周知拡大を図って参りたいと存じます。

又、当財団も公益財団法人へ移行して7年目を迎え、人間全体への社会貢献を推進していくために活動基盤の安定を維持しつつ、当財団が成すべき事業をしっかりと行なう為にも、会員各位による積極的な意見の交換や活動の充実を図る事を基本とし、さらなる充実した運営体制を確立して参ります。

当財団の活動方針としては、公益目的事業の基本方針を踏まえ、特に「青少年健全育成と社会福祉問題と環境問題等」をメインテーマとし、人間全体における生活・社会・国際・福祉・自然の5つの環境改善の面から支援並びに助成を行い、更に、IT等を駆使して広い範囲からの情報収集を行い、時代に沿ったより良い公益活動・非営利活動への関心を高め人間全体の未来の発展に寄与し、公益財団法人としての存在意義のある活動を行うことを目標に掲げ、社会に貢献するべく諸事業の実施をして参ります。

# 事業内容

## (1) 生活環境改善事業

貧困対策・障害者支援や被災者への支援等を行い、従前からの継続事業である薬物乱用防止啓発のためのDVD無償頒布活動を主軸として、地域社会における生活環境の改善を図ります。

## (2) 社会環境改善事業

高齢者支援や社会貢献・社会体験支援等を行い、従前からの継続事業として、子供の安全を守ることを目的とする指導教材「小学校「学校安全教室」低学年編」DVDの無償頒布及び、子供の非行防止を目的とする指導教材「非行防止教室」DVDの無償頒布を実施し、社会環境の中でも特に子供達の安全の面に重点を置いて啓発活動を行います。

## (3) 国際環境改善事業

近年世界的に深刻な問題となっている貧困を改善するため、貧困問題を抱える地域に対し、教育支援・災害支援・難病等での支援活動を行います。

## (4) 福祉環境改善事業

献血・献眼・献腎啓蒙事業や骨髄バンクサポーター協力、難病支援並びに障がい者を取りまく環境を改善することを目的とし、主に2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、障がい者が活躍するスポーツ競技（ボッチャ他）に関連する支援を行うことにより、社会全体における福祉に対する認知度を高め、将来的な福祉環境の発展に寄与する活動を行います。

## (5) 自然環境改善事業

ゴミ持ち帰り・リサイクル・リユース推進、植樹等始め、地球温暖化が近年世界規模で問題となり、CO2に関する問題をはじめ、一般に情報が浸透していないため認知度が低い環境問題に関して、その認知度を高めるとともに、日常生活の中から環境問題対策に対する意識を高める活動を実施します。

## (6) その他

上記各種事業に共通する普及啓発活動として、セミナーの開催やライオンズクラブと連携などを実施します。

## 事業計画

月	事業・運営月間活動内容
7	常任理事会 事業委員会（事業の検討）
8	監事監査会 総務委員会
9	常任理事会 第1回理事会・評議員会、
10	事業委員会 財団普及啓蒙・会員獲得の為の各団体訪問普及活動
11	常任理事会 助成審査会
12	事業委員会 財団普及啓蒙・会員獲得の為の各団体訪問普及活動
1	セミナー開催 財団普及啓蒙・会員獲得の為の各団体訪問普及活動
2	監事監査会・総務委員会
3	事業委員会 財団普及啓蒙、会員獲得の為の各団体訪問普及活動
4	常任理事会
5	総務委員会 財団普及啓蒙、会員獲得の為の各団体訪問普及活動
6	常任理事会 第2回理事会・評議員会